



JPN Class

Online school - 日本語で学ぼう

国語の学習

小学校

六年生

九月 第④週



学習を始める前に

①必ず用意してください

- ・ 国語のノートと漢字ノート
- ・ 筆記用具

②注意

- ・ 大事だと思われるところはノートに書いてください。
- ・ このビデオで使っているスライドを印刷したい人は、最後のお知らせを見てください。
- ・ 「ビデオを止めてください。」と言われたら、ビデオを止めて、先生の指示にしたがってください。
- ・ 必要があるときは、ビデオを止めたり、もう一度ビデオを見たりしてください。

新しい漢字

漢字のノートに書いて覚えてみましょう。

誕生 タン
日

絹 きぬ

装備 ソウ
備

山頂 チョウ
頂

班 はん

回覧 ライ
覧

読んでみましょう。

(読み方を漢字のノートに書いてください。)

誕生日

たんじょうび

絹

きぬ

装備

そうび

山頂

さんちよう

班

はん

回覧

かいらん

仮名の由来

日本には、もともと文字がありませんでした。それで、わたしたちの祖先は、やまと言葉（和語）を書き表すために、中国から伝わった漢字を利用する方法を考え出しました。漢字は、形・音・意味をもっています。

布	波	(形)
フ	ハ	(音)
ぬの	なみ	(意味)

「波」の「ハ」、「布」の「フ」という音は、中国の発音に由来します。仮名がない時代には、日本語の発音を漢字で書き表すために、意味とは関係なく、漢字の音だけを使って書くことが行われました。

〈例〉

はる (春) 波留ハル

なつ (夏) 奈都ナツ

あき (秋) 安吉アキ

ふゆ (冬) 布由フユ

このような使い方の漢字を、「万葉仮名まんよう」といいます。

平安時代になると、漢字をもとに平仮名・片仮名が作られました。

〈平仮名〉

平仮名は、万葉仮名をくずして書くところから生まれました。

〈例〉

安 — あ

以 — い

奈 — な

保 — ほ

〈片仮名〉

片仮名は、万葉仮名の形の一部をとって書くところから生まれま
した。

〈例〉

阿	ア	伊	イ
奈	ナ	保	ホ

漢字は、一字一字が意味を表す文字です。これを表意文字とい
います。これに対して、平仮名も片仮名も、意味を表さず音だけ
を表す文字です。これを表音文字といいます。

現在、日本語の文章を書き表すときには、ふつう、漢字と仮名
を交ぜて使います。

ローマ字とのかかわり

中国から伝わった漢字、漢字から生まれた平仮名と片仮名の他
に、今日本では、ローマ字も多く使われるようになってきました。
ローマ字は、西洋から伝わった表音文字です。西洋からローマ
字が伝わってきたときには、すでに、平仮名・片仮名が日本語の
ための表音文字として定着していました。ですから、ローマ字交
じりの日本語を書くようには、なりませんでした。

しかし、駅名や標識にローマ字が使われたり、コンピュータ
の文字入力にローマ字を用いたりするなど、ローマ字にふれる機
会は、どんどん増えてきています。

片仮名の起こり

ア	阿	イ	伊	ウ	宇	エ	江	オ	於
カ	加	キ	機	ク	久	ケ	介	コ	己
サ	散	シ	之	ス	須	セ	世	ソ	曾
タ	多	チ	千	ツ	川	テ	天	ト	止
ナ	奈	ニ	仁	ヌ	奴	ネ	祢	ノ	乃
ハ	八	ヒ	比	フ	不	ヘ	部	ホ	保
マ	末	ミ	三	ム	牟	メ	女	モ	毛
ヤ	也			ユ	由			ヨ	與
ラ	良	リ	利	ル	流	レ	礼	ロ	呂
ワ	和	ヰ	井			エ	恵	ヲ	乎
ン	尔								

平仮名の起こり

无	和	良	也	末	波	奈	太	左	加	安
えん	わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ
	爲	利		美	比	仁	知	之	機	以
	ぬ	り		み	ひ	に	ち	し	き	い
		留	由	武	不	奴	川	寸	久	宇
		る	ゆ	む	ふ	ぬ	つ	す	く	う
	恵	礼		女	部	祢	天	世	計	衣
	急	れ		め	ろ	ね	そ	世	け	え
	遠	呂	与	毛	保	乃	止	曾	己	於
	きを	ろ	よ	も	ほ	乃	と	そ	己	於
						の	と	そ	こ	お

日本で使われている、平仮名・片仮名・ローマ字などの文字についてまとめましょう。

布	波	形
フ	ハ	音
ぬの	なみ	意味

「波」の「ハ」、「布」の「フ」という音は、中国の発音に由来します。仮名がない時代には、日本語の発音を漢字で書き表すために、意味とは関係なく、漢字の音だけを使って書くことが行われました。

〔例〕 ハル
 はる (春) 波留
 なつ (夏) 奈都
 ナツ
 あき (秋) 安吉
 アキ
 ふゆ (冬) 布由
 フユ

このような使い方の漢字を、「万葉仮名」といいます。平安時代になると、漢字をもとに平仮名・片仮名が作られました。

- (1) 仮名がない時代の日本語の発音の書き表し方を、次のようにまとめました。() に合う言葉を から選んで書きましよう。
- () とは関係なく漢字の () () という。このような使い方の漢字を () () という。

形	おん	まんよう	
音	意味	万葉仮名	平仮名

- (2) 平仮名や片仮名が作られたのは、いつの時代ですか。

日本で使われている、**平仮名**・**片仮名**・**ローマ字**などの文字についてまとめましょう。

布	波	形
フ	ハ	音
ぬの	なみ	意味

「波」の「ハ」、「布」の「フ」という音は、中国の発音に由来します。仮名がない時代には、日本語の発音を漢字で書き表すために、意味とは関係なく、漢字の音だけを使って書くことが行われました。

〔例〕 ハル
 はる (春) 波留 なつ (夏) 奈都 ナツ
 あき (秋) 安吉 アキ ふゆ (冬) 布由 フユ

このような使い方の漢字を、「**万葉仮名**」といいます。平安時代になると、漢字をもとに平仮名・片仮名が作られました。

(1) 仮名がない時代の日本語の発音の書き表し方を、次のようにまとめました。() に合う言葉を から選んで書きましよう。

(**意味**) とは関係なく漢字の (**音**) 利用していた。このような使い方の漢字を (**万葉仮名**) という。

形	おん	まんよう	平仮名
音	意味	万葉仮名	

(2) 平仮名や片仮名が作られたのは、いつの時代ですか。

(**平安時代**)

〈平仮名〉

平仮名は、万葉仮名をくずして書くところから生まれました。

〈例〉

安 | 安 | あ 以 | 以 | い
奈 | な | な 保 | 保 | ほ

〈片仮名〉

片仮名は、万葉仮名の形の一部をとって書くところから生まれました。

〈例〉

阿 | ア 伊 | イ
奈 | ナ 保 | ホ

漢字は、一字一字が意味を表す文字です。これを表意文字といいます。これに対して、平仮名も片仮名も、意味を表さず音だけを表す文字です。これを表音文字といいます。

現在、日本語の文章を書き表すときには、ふつう、漢字と仮名交ぜて使います。

(3) 平仮名・片仮名の多くは、どのようにして生まれましたか。

① 平仮名

② 片仮名

(4) 漢字と仮名の特徴について、次のようにまとめました。
() に合う言葉を から選んで書きましよう。

・漢字は、一字一字が () を表す () 文字
である。これに対して、仮名(平仮名・片仮名)は、意味を表さず () だけを表す () 文字である。

音	形	意味	表示	表意	表音
---	---	----	----	----	----

〈平仮名〉

平仮名は、万葉仮名をくずして書くところから生まれました。

〈例〉

安 | 安 | あ 以 | 以 | い
奈 | な | な 保 | 保 | ほ

〈片仮名〉

片仮名は、万葉仮名の形の一部をとって書くところから生まれました。

〈例〉

阿 | ア 伊 | イ
奈 | ナ 保 | ホ

漢字は、一字一字が意味を表す文字です。これを**表意文字**といいます。これに対して、平仮名も片仮名も、意味を表さず音だけを表す文字です。これを**表音文字**といいます。

現在、日本語の文章を書き表すときには、ふつう、漢字と仮名交ぜて使います。

- ① 平仮名 **万葉仮名をくずして書くところから生まれた。**
- ② 片仮名 **万葉仮名の一部を取って書くところから生まれた。**
- ③ 平仮名・片仮名の多くは、どのようにして生まれましたか。
- ④ 漢字と仮名の特徴について、次のようにまとめました。
() に合う言葉を から選んで書きましょう。
・漢字は、一字一字が (**意味**) を表す (**表意**) 文字である。これに対して、仮名 (平仮名・片仮名) は、意味を表さず (**音**) だけを表す (**表音**) 文字である。

音	形	意味	表示	表意	表音
---	---	----	----	----	----

(5) 日本語の文章を書き表すときには、ふつう、漢字と仮名を交ぜて使いますが、こうすることと、どんな利点があるのか。次から選び、○を付けましょう。

ア() 書く人も読む人も、あまり覚えなくてすむ。

イ() 書く人も読む人も、文字をたくさん覚えられる。

ウ() 書く人が、速く、正確に文章を書き表すことができる。

エ() 読む人が、速く、正確に意味を読み取ることができる。

(6) 次の二つの文を比べて考えたことを、あとの□のようにまとめました。()に合う言葉を書きなさい。ただし、①は二つあり、同じ言葉が入ります。

・ はははははじょうぶだ。

・ 母は歯はじょうぶだ。

初めの文は(①) ()ばかりで書いているので、「ははははは」をどのように読めばよいのか分からない。しかし、二番目の文は、(②) ()と(①) ()を交ぜて書いているので、意味がよくわかる。

(7) 次の文を例にして、漢字と仮名がどのように使われるかを考えました。正しいものをあとから選び、○を付けなさい。

・ 父の誕生日に絹のネクタイをおくります。

ア() ほとんどすべての言葉に漢字が使われる。

イ() 外来語には片仮名が使われる。

ウ() 和語には平仮名が使われる。

(5) 日本語の文章を書き表すときには、ふつう、漢字と仮名を交ぜて使いますが、こうすることと、どんな利点があるのか。次から選び、○を付けましょう。

ア() 書く人も読む人も、あまり覚えなくてすむ。

イ() 書く人も読む人も、文字をたくさん覚えられる。

ウ() 書く人が、速く、正確に文章を書き表すことができる。

エ(○) 読む人が、速く、正確に意味を読み取ることができる。

(6) 次の二つの文を比べて考えたことを、あとの□のようにまとめました。()に合う言葉を書きなさい。ただし、①は二つあり、同じ言葉が入ります。

・ ははははははじょうぶだ。

・ 母は歯はじょうぶだ。

初めの文は(① **平仮名**)ばかりで書いているので、「ははははは」をどのように読めばよいのか分からない。しかし、二番目の文は、(② **漢字**)と(①)を交ぜて書いているので、意味がよくわかる。

(7) 次の文を例にして、漢字と仮名がどのようなに使われるかを考えました。正しいものをあとから選び、○を付けなさい。

・ 父の誕生日に絹のネクタイをおくります。

ア() ほとんどすべての言葉に漢字が使われる。

イ(○) 外来語には片仮名が使われる。

ウ() 和語には平仮名が使われる。

中国から伝わった漢字、漢字から生まれた平仮名と片仮名の他に、今日本では、ローマ字も多く使われるようになってきました。ローマ字は、西洋から伝わった表音文字です。西洋からローマ字が伝わってきたときには、すでに、平仮名・片仮名が日本語のための表音文字として定着していました、ですから、ローマ字交じりの日本語を書くようには、なりませんでした。

しかし、駅名や標識にローマ字が使われたり、コンピュータの文字入力にローマ字を用いたりするなど、ローマ字にふれる機会は、どんどん増えてきています。

(8) ローマ字とは、どんな文字ですか。次から選びましょう。

ア() 西洋から伝わった表音文字。

イ() 西洋から伝わった表意文字。

ウ() 中国から伝わった表意文字。

(9) 日本語とローマ字とのかかわりについて、次のようにまとめました。()に合う言葉を から選んで書きなさい。

・ローマ字が日本に伝わってきたときには、()
片仮名が()としてすでに定着していたので、日本語の文章をローマ字交じりで書くようにはならなかった。しかし、現在では、駅名や標識、コンピュータの文字入力に用いるなど、ローマ字にれる機会が()いる。

漢字

平仮名

表意文字

表音文字

増えて

減って

中国から伝わった漢字、漢字から生まれた平仮名と片仮名の他に、今日本では、ローマ字も多く使われるようになってきました。ローマ字は、西洋から伝わった表音文字です。西洋からローマ字が伝わってきたときには、すでに、平仮名・片仮名が日本語のための表音文字として定着していました、ですから、ローマ字交じりの日本語を書くようには、なりませんでした。

しかし、駅名や標識にローマ字が使われたり、コンピュータの文字入力にローマ字を用いたりするなど、ローマ字にふれる機会は、どんどん増えてきています。

(8) ローマ字とは、どんな文字ですか。次から選びましょう。

ア (○) 西洋から伝わった表音文字。

イ () 西洋から伝わった表意文字。

ウ () 中国から伝わった表意文字。

(9) 日本語とローマ字とのかかわりについて、次のようにまとめました。() に合う言葉を から選んで書きなさい。

・ローマ字が日本に伝わってきたときには、(**平仮名**) ・片仮名が (**表音**) としてすでに定着していたので、日本語の文章をローマ字交じりで書くようにはならなかった。しかし、現在では、駅名や標識、コンピュータの文字入力に用いるなど、ローマ字にれる機会が (**増えて**) いる。

漢字

平仮名

表意文字

表音文字

増えて

減って

宿題

次回の授業までにやる勉強です。

1. 漢字

今日の授業で書いた漢字の練習をしましょう。

2. 言葉の勉強（国語のノートに答えを書きましょう。）

利点（利益のある点。有利な点。）

・似た意味の言葉はどれでしょう。

ア 欠点 イ 長所 ウ 短所

3. ローマ字

どんなところでローマ字を見たり、自分で使ったりしていますか。まとめましょう。

先生に、まとめたものを見てもらいたかったら、eメールで送ってください。



お知らせ

1. 質問があったら、メールをください。すぐお返事します。
 2. 自分が書いた文章を見てもらいたいときはメールで送ってくれば、直して送り返します。
- ❖ メールアドレスは、 Akiko@JPNCClass.com です。
 - ❖ このビデオのスライドはWebページ <http://JPNCClass.com> からダウンロードや印刷ができます。



JPN Class

Online school - 日本語で学ぼう

国語の学習

小学校

六年生

年間学習表



8月	7月	6月	5月	4月		
		<p>討論会をしよう 討論会の流れと進 め方を学習しよう。</p>			<p>1年間の学習を通し て先生の話を聞き、 学習を進めよう。</p>	話す／聞く
	<p>本は友達 自分の好きな本を 紹介しよう。</p>	<p>ガイドブックを作る う 読み手に必要な情 報、自分が伝えた いことをふまえて、 文章を書こう。</p>	<p>生き物はつながりの 中に 文章全体を短くま とめよう。(要約 しよう。)</p>	<p>カレライス 主人公と似た経験 について書こう。</p>	<p>新聞記事 記事の要約をし、 記事に対する自分 の意見を書こう。</p>	書く
<p>船りんご 詩の言葉に現れた 筆者の気持ちを読 み取ろう。</p>	<p>森へ 情景を想像しながら 読んで、森のイ メージを豊かに伝 える効果的な表現 を味わおう。</p>	<p>短歌・俳句の世界 短歌や俳句を讀ん で、リズムや言葉 の美しさを感じよ う。</p>	<p>生き物はつながりの 中に 筆者が文章を通し て一番言いたいこ とは何か考えよう。</p>	<p>カレライス 主人公の気持ちを 考え、自分と重ね 合わせて読んでみ よう。</p>	<p>新聞記事 記事の内容を読み 取るう。</p>	読む
<p>同じ訓を持つ漢字 同じ訓を持つ漢字 それぞれの意味と 使い方を知ろう。</p>			<p>暮らしの中の言葉 ことわざや漢字四 字の言葉の、意味 や使い方を理解し よう。</p>	<p>漢字の形と音・意味 漢字の音を表す部 分、意味を表す部 分を知り、漢字の 組み立てを理解し よう。</p>	言葉	

1月	12月	11月	10月	9月	
	自分の考えを発信しよう 自分の考えをインターネットを使って、友だちに発信しよう。			みんなで生きる町 調べたことや考えたことを分かりやすく伝えよう。	話す／聞く
今、わたしは、ぼくは 自分の思いが伝わるような表現を身に付けよう。	自分の考えを発信しよう 「平和」に関する資料を通じて、自分の考えを書こう。	イートハーヴの夢 宮沢賢治の考えについて分かったこと、思ったことを書こう。	やまなし この作品を読んで思ったことを、自分なりにまとめてみよう。	みんなで生きる町 調べたことをもとに、提案書を作ろう。	書く
感動を言葉に見たり感じたりしたことをもとに、心のつぶやきを言葉にしよう。	平和のとりでを築く文の書き方の特徴に気をつけて、筆者の考えを読み取ろう。	イートハーヴの夢 宮沢賢治の考え方や生き方を読み取ろう。	やまなし 独特な言葉や表現を味わおう。情景を想像しながら読んで、作品の特徴を考えよう。	みんなで生きる町 だれもが暮らしやすくするにはどうしたらいいか考えよう。	読む
	インターネットと学習 インターネットを学習に役立てるために、注意することを確かめよう。	覚えておきたい言葉 教科や社会生活の中で使われる言葉の意味を理解しよう。	熟語の成り立ち 漢字二字・三字・四字以上の熟語について理解を深めよう。	日本で使う文字 平仮名と片仮名の由来を知ろう。ローマ字とのかかわりを知ろう。	言葉

	3月	2月	
			話す／聞く
	<p>今、君たちに伝えたいこと 筆者が伝えたいことをまとめ、俺に対する自分の考えを書こう。</p> <p>生きる 「生きる」の形をまねて、詩を創ってみよう。</p>	<p>わたしたちの言葉 いろいろなあいさつについてまとめてみよう。</p>	書く
	<p>今、君たちに伝えたいこと 筆者が経験をとおして子どもたちにつたえたいメッセージを読み取ろう。</p> <p>生きる それぞれの連に注意しながら、作者の考える「生きる」を読み取ろう。</p>	<p>海の命 周りの人々とのかわりの中で成長していく主人公の姿を読み取ろう。登場人物の言動から生き方や考え方を読み取ろう。</p> <p>言葉の橋 詩を味わい、心を伝える言葉の働きについて筆者の考えを読みとろう。</p>	読む
<p>六年生の漢字 六年生で習った漢字の復習をしよう。</p>		<p>漢字クイズ 小学校で習った漢字を、正しく理解しているか確かめよう。</p>	言葉